



## お江戸舟遊び瓦版 1090号

水彩都市江東 ころろ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり  
お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

## 江東区議会傍聴「マイナス地域防災対策・水害避難支援システム」に注目

はじめに：2025年度第1回本会議を傍聴した。

- 3/6 企画総務委員会、3/7 区民環境委員会
- 3/10 厚生委員会、3/11 建設委員会
- 3/13 本会議 3/18 防災委員会
- 3/25 医療・介護・高齢者支援特別委員会
- 3/28 本会議

## 《注目された点、質疑等》

## 3/6 企画総務委員会

- ・ パートナシップ制度に関する陳情は反対多数で不採決になった。江東区マイナス地域防災に真摯に取り組み、防災対策が完了するまでは人口を減らすべしとの意見が出された。

## 3/7 区民環境委員会

- ・ 区民館増設、施設使用料値上げ延期、ふるさと納税の廃止、太陽光発電パネル設置義務化導入廃止などの陳情の議論が続いたがいずれも継続審議となった。
- ・ 区民保養施設の利用料金の見直しについて、現行4施設中1ヶ所で保留となった。

## 3/10 厚生委員会

- ・ 化学物質、電磁波問題、障害者支援、ワクチン問題、特養ホーム、児童館、給食への有機食材導入問題、日常生活自立支援、保育士問題等の多数の陳情と、ヤングケアラー周知シンポジウム等々課題が多く、特に保育士、訪問介護士不足が大きな課題で、抜本的な検討対策が必要と指摘された。保育園の定員割れ問題、子育て支援団体への助成を求める陳情の議論が続いた。
- ・ 江東区地域福祉計画策定調査：地域の繋がりが下がっている中で、回答率が15%下がった！本当に困っている人は回答しない。 @地域に入って直接声を聞いて検討したい。
- ・ 江東区自殺対策計画（案）：全国の2倍の自殺率を十分踏まえて検討していく。
- ・ 保育所用務業務委託について：区には余剰金も多いので業務委託の必要性はないとの意見あり。

## 3/11 建設委員会

- ・ 江東区内の管理不全空き家対応：ゴミ屋敷と空き家の違いなど課題が多いが、徐々に進めている。
- ・ 越中島川護岸耐震補強工事： @船宿問題が一步進み、着工の目途が立った。
- ・ 仙台堀川公園整備： @障害物撤去が長期化したがる、進み始めた。
- ・ 若洲公園整備事業： @（マイナス地域ではないので）浸水対策は行っていない。

## 3/13 本会議（インターネット傍聴）

- ・ 令和6年度一般会計補正予算等の討議が行われ、可決された。
- ・ 江東区男女共同参画条例の一部改正条例が委員会では不採決となったが、本会議で賛成21人、否決18人で可決された。（注）改正概要（1）差別的取扱い等の禁止事項として、性的指向又は性自認についての公表の強要等及び他人の性表現の妨げについて規定する。（2）パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を新設する。

## 3/18 防災・まちづくり対策特別委員会

江東区のすべての地下鉄に浸水安全対策を求める陳情、防災対策のさらなる充実を求める陳情、江東区総合防災訓練に「水害避難訓練」の追加を求める3陳情については継続審議となった。

N：特段の変化なしとは？ @いつ高潮があっても不思議のない状況と認識している。



N:現状の一日 ⇨ 2日分の備蓄というが、進行予定は？ @予算も必要なので3年かけて進める。  
 水害避難訓練： @今後大規模水害避難訓練を計画している。  
 江東区拠点避難所の防災備蓄品倉庫の水害対策を求める陳情： @学校の備蓄倉庫を上層階にする方向で検討している。  
 K: 空きスペースのない学校のプールサイトの活用をしては？ @対応を検討している。  
 江東区国土強靱化地域計画改定案： @重点6項目を設定し進めて行く。  
 Y: マンションとの防災協定が広がらないのはなぜ？ @マンション側が部外者の入所を危惧している。 Y:人命優先で条例化した対策案をつくるべきと思う。  
 防災ポータルサイトの開設： @防災アプリにコミュニティ機能を追加した。  
 K: 学校長への情報ルート等を簡略化すべきだ。 @校長の指示で避難者が開設される。  
 K: 防災時の区職員配置の訓練を十分実施すべきだ。  
 Y:2019年台風19号の避難所対策が不十分と聞くが？ @アプリでの発信が不十分であったが、現在は改善し、スピーディーな対応ができる。  
 Y: 高齢者はアプリ対応が難しいが？ @高齢者・老人会と協働を進めたい。  
 江東区バリアフリー基本構想改定：  
 T: パブリックコメントの活かし方、増加させる方法を検討して欲しい。  
 西大島地域まちづくり方針・大島3丁目駅前エリアまちづくり方針：  
 @浸水対応型まちづくりビジョンを推進する等、防災は十分検討する。  
 N: 子供からお年寄りまで住み続けられるには家賃がポイントである。  
 亀戸2丁目団地一帯における浸水対応型拠点エリアのイメージ



高潮ハザードマップ改定： @都に連動して改定した・

### 3/25 医療・介護・高齢者支援特別委員会

- ・ 都有地に特養ホームと障害者施設整備促進、特別養護老人ホーム、障害者や高齢者の家族が専属ヘルパーを雇用できる制度、国民健康保険料値下げ等々の陳情はいずれも継続審議となった。

### 《検討課題》

#### ① 地下鉄8号線の浸水安全対策、さらなる対策の充実を求める区議会陳情

江東区最大課題は「マイナス地域防災」で、荒下『荒川氾濫』には、北区で荒川が決壊し、地下鉄内にも浸水し、霞が関までビジネスや国政も機能不全になり、地下鉄は危険この上ない！

- ② 「江東5区マイナス地域」防災：温暖化による台風大型化と、首都直下大震災による荒川破堤・氾濫は大変危険で、その対応を考えないのは区民の生命を守るべき行政の不作為行為に相当。
- ③ 水害避難支援システム：浸水対応型まちづくり推進の期待はあまりにも厳しい。三重県等で進んでいる水害避難支援システムの研究を中央大学有川研究室が進めており、マイナス地域の広がる江東区では一日も早い区民・町会・自治会・企業・区・社協等の連携での推進が必要だ！

所感：南海トラフ地震が起きたら、直ぐ逃げてと報じられ、被害は270兆円とも聞く。直近にも襲来しそうな荒川氾濫対策が今ほど必要な時はない。今後は、区民の生命を最優先に、平和で民主的なジェンダーバランスを重視し、誰ひとり取り残さない、安心安全な江東区・地域社会づくりを区と区民、企業、町会、自治体、NPO等々の連携で進めて行かねばならない。（文責 中瀬）